

Ⅲ 地域アクションプランからの自立プラン

地域アクションプランとして目指した姿が実現し、今後においてさらなる取り組みの拡充がないものや、自ら課題解決できる力が備わった取り組みなど、地域アクションプランとしてのサポートを必要としなくなったプランについて、「地域アクションプランからの自立プラン」として整理します。

なお、自立プランに位置付けたプランについては、産業振興推進地域本部において、定期的（年に一回程度）な状況把握を行い、新たな事業展開があり、サポートが必要な場合は、再度地域アクションプランに位置付けを行います。

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
安芸	安芸市のシラス 漁業者所得の向上 《安芸市》	平成25年に設立したシラス加工所によるシラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化と、シラスの水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を図る。	・安芸漁協 ・(株)安芸水産	取り組み期間：H21～R元 ・企業、漁協、漁業者による加工処理能力向上に向けた協議(H23) ・シラス加工施設完成(H24) ・継続的な安芸市場でのシラスの購入(株)安芸水産(H25～) ・冷凍シラスの商品化に向けた冷凍機器の購入(株)安芸水産(H29) ◆水揚げ金額 189,231千円(H23) →398,123千円(H30.1月～12月) ◆シラス漁獲量 393t(H26.1月～12月) →559.3t(H30.1月～12月) ◆雇用の創出 6名(9名(H25)→15名(H30))

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
安芸	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》	新規就業者の確保等により備長炭の生産量を拡大し、国内トップの備長炭産地として安定供給体制を築くことにより、地域における就業の場の創出と伝統産業の継承を図る。	・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭室戸生産組合 ・土佐備長炭生産組合 ・上土佐備長炭東洋組合 ・備長炭生産者 ・室戸市 ・東洋町	取り組み期間：H21～R5 ・生産者の組織化（H19～H30） ・特用林産業新規就業者支援事業を活用した研修生の受入（H21～R5） ・産振補助金を活用した製炭窯等の整備（H21～25） ◆生産量（年次）の増大 555t（H20）→1,257t（R4） ◆新規就業者の増加 研修生受入人数：44人（H21～R5） ◆高知県の白炭生産量は全国一位。室戸市と東洋町で県内生産量の約90%程度を生産（H26以降）
	室戸市中心市街地の活性化 《室戸市》	新たに策定する室戸市中心市街地振興計画に基づき、空き店舗や地域資源を活用した取り組みなどを進めることで室戸市中心市街地の魅力を高め、住民や観光客の利用促進を図り、地域の活性化につなげる。	・室戸市商工会 ・室戸市	取り組み期間：R2～5 ・チャレンジショップ「Go・ムロト」事業開始（H30） チャレンジャー：7名（H30～R5） ・室戸市中心市街地振興協議会の設立（R元） ・室戸市中心市街地振興計画の策定（R2） ◆中心市街地での事業所の新規開業（累計） 2件（R2）→11件（R5）
	田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 《田野町》	製塩体験施設での塩づくり体験を通じて交流人口の拡大を図るとともに、新たな就業者の育成と関連産業への波及を図る。	・田野町 ・民間事業者	取り組み期間：H24～R5 ・観光拠点等整備事業費補助金を活用した塩づくりの過程を見学・体験できる施設の整備（H24） ・製塩体験施設のオープン（H25） ・地域おこし協力隊の導入（H25～） ・町内ガイド組織による製塩体験施設のガイド・体験案内の実施（R元～） ◆体験施設受入人数 269人（H30）→460人（R4） ◆塩関連での就業者数 2人（H30）→4人（R4）

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
物部川	大学生による地域応援団(サポーター)づくり 《物部川流域全域》	地域と大学等の学生の交流機会を増やし、相互の理解を深めることにより、物部川地域をサポートする『地域応援団(サポーター)』を作っていく。	・人と地域の研究所 ・学生グループ	取り組み期間: H21～27 ・高知工科大学、NPO、地元、市など関係機関との連携協議(H21) ・NPO法人(人と地域の研究所)がふるさとインターンシップ事業(県から委託)を実施(H21～23) ・(一社)いなかパイプが重点分野雇用創造地域暮らし体験実施事業(田舎ビジネスマネージャー育成プログラム「マネチャレ!」(県から委託))を実施(H24) ・学生グループと地域団体等のマッチングを行い、交流活動を実施(H24～27) ◆交流した学生数 19名(H23)→278名(H27.12月末時点)
	加工品販売による夜須地域の活性化 《香南市》	地場産品を活かした加工品開発・販売を行い、生産農家の所得向上につなげる。	・協同組合やすらぎ市	取り組み期間: H24～R元 ・地元加工業者と連携した商品開発(H24～27) ・加工組織(製造部)の結成及び産振補助金を活用した加工場の整備(H25) ・民間情報誌での取り組み紹介やミニパンフレット、SNSなどによる商品情報等の発信(H26～) ・新商品の開発・販売及び既存商品の改善や新たなアイテムの追加(H27～) ◆主力商品の定着・充実による経営の安定化 7,000万円(H22)→9,700万円(H30) ◆雇用の創出 5名(1名(H25)→6名(H30))
	南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大 《南国市》	地域の農家所得の向上を図るため、地元食材をフル活用したオリジナル料理を堪能できるレストランとベーカリーを運営し、地元食材の消費を拡大するとともに新たな魅力を発信する。	・(株)ナイフアンドフォークカンパニー(農園レストラン トリトン)	取り組み期間: H26～R3 ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、レストランとベーカリーの整備、オープン(H27) ・南国市内の生産者(株)南国スタイル等からの食材仕入(H27～) ・地元食材を使ったメニュー開発・提供(H27～) ◆売上高 0万円(H26)→1億3,086万円(R2) ◆食材の地産地消率(県内) 0%(H26)→85%(R2)

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
物部川	香南市における特産品づくりと販売の促進 《香南市》	香南市の地場産品を事業者が開発し、香南市のカタログ販売やネット販売、ふるさと納税の返礼品などの販路を活用し、香南市全体で販売活動を行い売り出すことで、香南市の知名度の向上や地域の農業者、商業者等の所得の向上を図る。	・(一社)香南市観光協会 ・香南市内の事業者 ・香南市	取り組み期間: H21～R5 ・香南市ギフトカタログによる販売(H22～) ・ネット(香南まるごと旨市)による販売(H23～) ・ふるさと納税の広報強化(H26～) ◆特産品の売上高 カタログ、ネットによる販売額 192万円(H26)→884万円(R5.12月末) ふるさと納税返礼品買取額 646万円(H26)→7,798万円(R5.12月末) ◆取扱商品数 カタログ、ネット 129品目(H26)→239品目(R5.12月末) ふるさと納税返礼品 129品目(H26)→724品目(R5.12月末)
	香美市における特産品づくりと販売の促進 《香美市》	地域資源を生かした加工品や地域産品、伝統工芸品などの香美市ブランド商品の開発及び磨き上げにより、香美市観光協会において行っているインターネット販売や香美市ふるさと納税返礼品としての取り扱いを増加させることにより、香美市のPRと共に事業者の所得向上、地域の活性化を図る。	・(一社)香美市観光協会 ・香美市内の事業者 ・香美市	取り組み期間: H21～R5 ・各種イベントでの特産品販売(H21～) ・県外見本市への出展募集(H30～) ・JA複合商業施設「とさのさとAGRI COLLETO」への出品商品募集(H30～) ・日曜市への出店(R2～) ・まるごと高知への出品(R3～) ・六次産業化セミナーの活用(H27～) ◆特産品の売上高(ネット、ふるさと納税) 522万円(H22) →3,421万円(R5.12月末) ◆取扱商品数(ネット、ふるさと納税) 8品目(H22)→402品目(R5.12月末)

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
高知市	中心商店街での アンテナショップ の運営	中心商店街で開設した常設のアンテナショップ「てんこす」の運営により、地域産品の販売を促進し、地域の生産者等の収入の確保につなげるとともに、各種の情報提供により、来街者の利便性の向上や商店街の売上げの増加を図る。	・(株)まこと	取り組み期間：H21～27 ・アンテナショップ「てんこす」の整備（H21） ・地域産品の掘り起こしと販売（H21～27） ・県外や大型客船入港時の出張販売（H23～27） ・NPOと連携したタウンモビリティの実施（H25～27） ◆加工品販売額 89,181千円（H22）→146,589千円（H26） ◆取扱いアイテム数（累計） 2,136 品目（H22）→4,972 品目（H26）
	異業種間のコラボレーションによる 新たな商品・サービスの創出	農林水産事業者と食品加工事業者など分野の異なる事業者の連携による新たな加工商品等開発の取り組みを促進するとともに、商品のブランド化と販路開拓の支援を行う。	・コラボネットワーク高知事務局 ・高知市	取り組み期間：H28～R元 ・「につぼんの宝物 JAPANグランプリ」参加（H28～） ・農商工連携セミナー開催（H28～） ・「につぼんの宝物 世界大会」参加（H28～） ・につぼんの宝物コラボグランプリ高知大会開催（H28～） ◆農商工連携セミナー受講者数 0事業者（H27）→延べ238事業者（H30） ◆コラボグランプリエントリー商品数 10アイテム（H27）→31アイテム（H30）
	生乳加工品の製造・販売による 新しい酪農経営モデルの創出	地場産品を活用した安全・安心な生乳加工品を消費地に提供するとともに、観光地や教育の場として牧場を活用するなど、新しい酪農経営のモデル牧場を創出する。	・岡崎牧場 ・高知市酪農農業協同組合	取り組み期間：H21～R3 ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した菓子製造機械の整備（H21）、菓子販売店のリニューアルオープン（H22） ・酪農教育ファーム、オープンファームの実施（H21～） ・体験観光ツアーの商品化及び龍馬パスポートへの参加（H26～） ・産業振興アドバイザーの導入による店舗レイアウトの見直しや情報発信についてのノウハウの取得（H30） ◆雇用の創出 0名（H22）→3名（R3） ◆加工品の販売額 817万円（H22）→1,125万円（R3）

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
高知市	新ショウガの生産振興 《高知市》	県内一の新ショウガ産地における品質向上および新しい栽培技術の検討により、産地の安定化と農家所得の向上を図る。	・JA高知県 (春野地区営農経済センター) ・JA高知県 (春野地区生姜部会)	取り組み期間: H21～R5 ・ショウガ洗浄水循環再利用装置の導入(H25.3) ・腐敗事故対策の実施(H25～) ・ファインバブル施用試験(H25～30) ・炭酸ガス施用試験(H26～R元) ・出荷場GAP点検の実施(H29～) ・栽培マニュアル作成(R2～3) ◆売上高(園芸年度) 7.51億円(H21) → 7.79億円(R5) ◆腐敗事故の抑止(園芸年度) 20件(H26) → 4件(R5)
	四方竹のブランド化による中山間地域の振興 《高知市》	全国的に希少性の高い四方竹を高知県のブランド品として育て、中山間地域の産業として振興するため、担い手を確保し、加工施設の衛生管理等により、安全と安心の促進を図る。	・JA高知市特産部会(七ツ蒟蒻加工組合、土佐山四方竹生産組合、鏡特産部会) ・(一財)夢産地とさやま開発公社	取り組み期間: H21～R5 ・七ツ蒟蒻加工組合加工場拡張・改善(H22～30) ・製氷機等の導入(H22、H24: 七ツ蒟蒻加工組合、H24: 土佐山四方竹生産組合) ・土佐山四方竹生産組合の加工場新設(H25) ・高知市四方竹振興計画の策定(H25) ◆販売額 4,000万円(5ヵ年平均)(H21) → 5,531万円(R4) ◆消費期限の改善 6日(H21) → 7日(R5)
嶺北	濁酒等を活用した地域資源との連携による地域の活性化 《大豊町、本山町》	地域の特産品となる濁酒等の製造・販売と地域の観光資源との連携によって、交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげる。	・生産者 ・大豊町濁酒協議会 ・本山町濁酒協議会	取り組み期間: H21～27 ・濁酒製造免許を取得し、濁酒製造を開始(H22～24) H22.5月 大豊町 H23.4月 本山町(1件目) H24.12月 本山町(2件目) ・ステップアップ事業の導入による販促資材等の導入 H22 大豊町濁酒協議会 H24 本山町濁酒協議会 ・販促活動(延べ24日(H26)) ◆生産者数 1名(H22)→3名(H27)

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
嶺北	滞在型市民農園の推進による地域の活性化 《本山町》	滞在型市民農園を整備し、都市部の住民の農業や田舎暮らしへの関心を高めて地域への移住につなげ、産業の活性化、雇用の創出、交流人口の拡大、農業の担い手づくり等による地域の活性化を図る。	・本山町	取り組み期間：H23～27 ・整備、運営を担う「本山町市民農園整備促進協議会」の設立（H23.12月） ・施設整備（H24～H25.4月）、運営開始（H25.6月） ・パンフレットの作成・配布、ウェブ、移住相談会等における滞在型市民農園のPR（H24～） ・農機具の使い方講習会、道づくり等の集落活動、イベント等による利用者と住民の交流（H25～） ・農業体験、フットパス等のイベント開催による地域外との交流（H25～） ◆本山町への移住者数（H24～H27.11月累計） 48人（H27目標30人の160%） ◆滞在型市民農園の稼働率向上 40%（H27.3月末現在） →80%（H27.11月末現在）
仁淀川	地元企業の活性化（芋菓子加工販売拡大事業） 《日高村》	高知県産のさつま芋を活用した新製品の開発などによる生産販売の拡大を推進する。	・渋谷食品㈱	取り組み期間：H21～27 ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し菓子製造工場を整備（H21） ・商品開発（H21～） ・「芋屋金次郎松山店」を出店（H23） ・「芋屋金次郎日本橋店」を出店（H25） ・「芋屋金次郎道後店」を出店（H27） ◆芋屋金次郎部門の売上高 2.0億円（H21）→7.3億円（H26） ◆大月町芋づくり等産地化育成協議会からのさつま芋仕入量 100t（H22）→400t（H26）

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
仁淀川	柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大 《越知町》	越知町をはじめとした地域の柑橘類等の農産物を活用した新たな加工品の開発や生産と販売の拡大をさらに進めるとともに、農地や生産者情報を行政と共有することで原材料の確保を図ることにより、雇用の拡大と地域農業の維持発展を目指す。	・(株)岡林農園	取り組み期間：H27～R元 ・産振補助金(ステップアップ事業)を活用した経営分析の実施(H27) ・ディスカバー農山漁村の宝に選定(H28) ・地域おこし協力隊との特産品開発(H28) ・業務用及び海外部門の販売拡大に向けた展開(H28～) ◆岡林農園の販売額 1.4億円(H26)→1.86億円(H30)
	ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進 《日高村》	木質系のネコ砂製造事業に取り組む県内企業を日高村に誘致し、村内での新たな雇用を創出する。また、原材料の木材チップや茶葉を仁淀川流域で調達することで、地元生産者への経済効果の波及を目指す。	・(株)エスエス	取り組み期間：H22～R元 ・産振補助金を活用した製造施設の整備(H22) ・OEM先であるアース・バイオケミカル(株)から要望のあった原料・製品をストックする倉庫(村所有)の供用開始(H26) ◆ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額 4,500千円(H23)→70,229千円(H30) ◆雇用の創出 14名(1名(H22)→15名(H30))
高幡	四万十町のこだわり野菜を使った加工品の生産販売による地域活性化 《四万十町》	四万十町の農薬や化学肥料を使わずこだわりを持って栽培した野菜を利用して、価値を最大限に活用した加工品の開発と販売拡大を行い、農家所得の向上と地域雇用の確保、農業の担い手づくりなど地域の活性化を図る。	・桐島畑	取り組み期間：H22～27 ・加工施設の整備(H22) ・新商品開発と販売(H22～27) ・農業研究生の受け入れ(H22～27) ◆加工品販売額 6,558千円(H21)→30,000千円(H27見込) ◆雇用の創出 9名(4名(H22)→13名(H27)) ◆農業研修修了生の地域への定住 5名

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
高幡	JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化 《須崎市、中土佐町、津野町》	JA出資農業生産法人を設立し、農作業受託等による地域の農業者の作業軽減及び農地の維持等を図る。 また、「くろしお市」「みのり市」の2つの直販所を移転統合、拡充して、地域農産物や地元食材を活かした惣菜、加工品の販売を行い、農業者の所得向上を目指す。	・(株)土佐くろしお村村営みのり ・JA土佐くろしお	取り組み期間：H26～R元 ・JA出資農業生産法人の設立及び施設・機械等の整備(H26～) ・農産物直販所の整備(H26～28) ・(株)土佐くろしお村村営みのりの設立(H27) ・産振補助金を活用した産直市「とさっ子広場」の施設整備(H27) ・「とさっ子広場」オープン(H28) ・複合経営拠点推進交付金を活用した田植機や防除機等の導入(H30) ◆全作業受託面積 5ha(H27)→18ha(R元) ◆一部作業受託面積 28ha(H27)→32ha(H30) ◆販売額 77,185千円(H26)→331,770千円(H30)
	みどり市を核とした「地消地産」の推進 《四万十町》	みどり市の「産直コーナー」での野菜等の農産物の品揃えの強化や加工品の開発、さらに「手づくりキッチン」での弁当や惣菜の充実で販売額の増加を図り、地消地産による地域の農業者の所得向上を目指す。	・JA 高知県 (高西地区)	取り組み期間：H21～R元 ・農産物の安定供給(H21～) ・「産直コーナー」での農産物の品揃えや加工品の開発(H21～) ・産振補助金を活用して「産直コーナー」に「手づくりキッチン」を併設(H25) ・「手づくりキッチン」での商品の充実(H25～) ◆「産直コーナー」の販売額 159百万円(H22)→238百万円(H30) ※肉類の販売額含む ◆「手づくりキッチン」の販売額 30,047千円(H26)→42,310千円(H30) ◆みどり市の販売部会員数(生産者) 389名(H26)→403名(H30)

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
高幡	滞在型市民農園 等を活用した四万 十町の移住を受 け入れやすい風 土づくり 《四万十町》	滞在型市民農園の機能強 化やお試し滞在施設の整 備などを行い、窪川、大 正、十和の3地域ごとに地 域との交流を含めた受入 体制を整えるとともに、移 住希望者等のニーズに 沿った支援策を実施し、四 万十町全体で移住に繋が りやすい風土づくりを目指 す。	・四万十町 ・営農支援セ ンター四万十 (株)	取り組み期間：H21～R元 ・滞在型市民農園「クラインガルテン四万十」 の整備及び運営(H21～) ・役場への移住相談窓口の設置(H23) ・滞在型施設7棟増設とコミュニティ施設の整 備(H24) ・お試し滞在施設の整備(H24・28:3施設) ・中間管理住宅の整備(H26～29:22件) ・移住フェア・相談会等への参加(H27～) ・移住支援住宅の整備(H28・29:5室) ・東京オフィスの開設(H30) ◆施設稼働率 滞在型市民農園 100%(H23)→86.8%(H30) ◆移住者数 17組 27人(H26)→132組 177人(H30末) ※四万十町窓口を通して移住された方
	大野見米のブラン ド化 《中土佐町》	四万十川の豊かな自然条 件を活用して生産される大 野見米のブランド化をキー ワードとして、まとまりのあ る生産・販売体制を構築 し、消費者に選ばれる米産 地づくりを推進する。	・おおのみ エコロジー ファーマーズ	取り組み期間：H21～R5 ・対面販売等の販売促進活動(H21～R5) ・消費者等との交流活動(H21～R5) ・おおのみエコロジーファーマーズの栽培管理 基準による「四万十の清粒 特裁 大野見米」 の販売(H25～R5) ・教育現場(大学生)との交流活動(H28～R5) ◆エコ米販売量：0.6t(H22)→15.5t(R5)

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
高幡	四万十町産鶏卵 を使用した加工品 の生産拡大 《四万十町》	養鶏農家が自社鶏卵と地元産の食材を使用した加工品の製造・販売を行う6次産業化に取り組み、販路開拓を行うことで売上アップと新たな雇用の創出を図る。	・(株)ぶらうん	取り組み期間：H29～R5 ・産振補助金を活用した新規事業に関する市場調査（H29） ・産振補助金を活用した加工施設の整備（H29） ・2号店の出店（R元） ・県版HACCP第3ステージ認証取得（R3） ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用した加工機械の導入（R3） ・新商品開発と販売（H29～R5） ◆加工品売上高 4,969万円（H28）→8,373万円（R4） ◆雇用の創出 15名（H28）→25名（R4）
幡多	レストランチェーン と連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業 《宿毛市》	民間事業者による地域水産物の利用促進と消費拡大を目指す。	・(株)ピーサーティ	取り組み期間：H22～29 ・加工施設を整備（H22） ・自社レストランでイベント等を開催（H22～） ・系列店「宿毛にく工房」開設（H28） ・活魚の取り扱い開始（H29） ◆売上高 1.5億円（H23）→3.7億円（H28） ◆雇用の創出 2名（18名（H22）→20名（H28）） （このほか、宿毛にく工房で9名をパート雇用）
	苺を核とした6次産業化確立事業 《大月町》	大月町の新しい加工品として注目されている苺氷りの販売拡大および新商品開発により、苺を大月町の新しい特産品として育成し、生産から加工、販売までの一貫体制の構築を目指す。	農業生産法人 苺氷り本舗(株)	取り組み期間：H22～29 ・新商品に係るチラシ・パンフレット等の作成、試食会の開催、ホームページリニューアル（H22） ・新商品の開発（H22～） ・販路開拓及び販売促進（H22～） ・OEM商品の製造（H22～） ◆売上高 44,090千円（H22）→64,737千円（H28） ◆雇用の創出 3名（5名（H22）→8名（H28）） ◆取引先数 60件（H22）→160件（H29）

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
幡多	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売推進事業 《四万十市》	平成 22 年度に建築したモデルハウス「四万十の家」を PR し、四万十ヒノキを利用した住宅建築を促進するとともに、四万十ヒノキのブランド化を図ることにより、地域内外での販売を促進し、地域経済の活性化を図る。	・四万十市	取り組み期間：H21～R元 ・モデルハウス建設 (H22) ・モデルハウス「四万十の家」利用開始 (H23) ・市産材補助事業 (H23～) ・地域産ヒノキのブランド化に向けた4市町村 (四万十市、三原村、四万十町、中土佐) 推進協議会の設立 (H23) ・ロゴマーク入りステッカーやジャンパーの作成 (H28～) ◆「四万十の家」着工戸数 23戸 (H27)→30戸 (H30) ◆ロゴマーク登録事業者数：14事業者 (H28～)
	すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業 《宿毛市・大月町》	漁協・民間会社の連携により漁協市場付近に整備した加工施設を核として、地元水産物の付加価値向上、地産地消・外商を進めることで、雇用創出につなげていく。	・すくも湾漁業協同組合	取り組み期間：H22～R元 ・加工施設整備 (H22) ・加工品の製造、出荷開始 (H23) ・真空包装機、ヘッドカッターの導入 (H26) ・フィレマシンの導入 (H27) ・通年出荷に向けた試験出荷 (H28～) ・関係者と協同での身割れ防止試験及び落下試験の実施 (H29) ・県版HACCP第3ステージ認証取得 (H30) ・関係者と協同での電気タモ (電撃による魚類沈静化装置) デモ機導入試験の実施 (H30) ◆売上高 1.04億円 (H26)→1.24億円 (H30) ◆加工量 (原魚ベース) 191.4t (H26)→551t (H30) ◆雇用の創出 4名 (7名 (H27)→11名 (H30))

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
幡多	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業 《宿毛市》	ブリやカツオ等、宿毛近海で獲れる魚を活用した加工品の生産体制充実や販売促進に取り組むことで、宿毛産の魚のブランド化を推進し、漁業者所得の向上を図る。	・(株)沖の島水産	取り組み期間：H24～R 元 ・産振補助金(ステップアップ事業)を活用した冷凍施設整備、パッケージデザイン制作、販売促進の実施(H23) ・産振補助金を活用した加工施設整備(H25) ・系列飲食店の新規開店(H28) ・加工場増設(H29) ・ホームページのリニューアル(H30) ◆売上高 800万円(H22)→5.7億円(H30)
	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進 《宿毛市》	地元産の柑橘等を利用した新たな事業を展開し、新規顧客やリピーターを獲得していくとともに、時代の変化と市場のニーズに対応した柑橘の販売方法を確立し、販路を拡大していくことで、売上アップと新たな雇用の創出に繋げていく。	・(有)成田果樹園	取り組み期間：H28～R5 ・ホームページ、フェイスブックの開設(H28) ・ふるさと納税返礼品への登録(H28～) ・はるか(柑橘類)ジュースの販売(R4～) ・文旦ジュースのリニューアル販売(R4～) ・教育旅行の受入開始(R5) (幡多広域観光協議会の「観光×SDGs」体験プログラムへの登録) ◆売上高 5,722万円(H28)→6,236万円(R4)
	すくも湾漁協による水産物の加工・販売 《宿毛市》	宿毛市片島に整備した施設を核として、水産物の加工・販売を展開し、地産地消・外商を進めることで、漁業者の所得向上や雇用創出につなげていく。	・すくも湾漁業協同組合	取り組み期間：H21～R5 ・産振補助金を活用した加工施設の整備(H21) ・新商品開発と販売(H21～) ・ふるさと納税返礼品への登録(H29～) ◆売上高 1,755万円(H22)→3,679万円(R4) ◆取引先の増加 26件(H21)→75件(R4)

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
幡多	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売 《宿毛市》	養殖場近辺に整備した加工施設を核に、原魚の鮮度を保持した付加価値の高い加工品製造に取り組み、通年・一定価格で販売する。これにより経営の安定化を図り、地域漁家との連携協力体制を構築して、宿毛湾産養殖魚のPRを実施するとともに、漁業者の減少を防ぎ、地域雇用を生み出す。	・株勇進	取り組み期間：H27～R5 ・産振補助金を活用した加工施設の整備（H27） ・商談会への出展（H27～） ・SNSを通じた情報発信（H27～） ・ホームページ・ECサイトの開設（R3） ・ブリ人工種苗の一部導入（R4～） ・海外への輸出開始（R4） ・プロモーションビデオの制作（R5） ◆売上高 0.4億円（H27）→6.5億円（R4） ◆雇用の創出 4名（H27）→9名（R4）
	宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大 《大月町》	干物等水産加工品の業務筋や小売店への販路拡大に向け、衛生管理体制の強化を図るとともに、新商品開発や既存商品の磨き上げ、個人顧客の掘り起こし等による売上の向上を図る。また、原魚は地域資源のみを活用し、商品ラインナップの拡充も進めることで、地元漁業者の所得向上につなげる。	・土佐大月海産	取り組み期間：H26～R5 ・産振補助金を活用した水産加工機器等整備（H27） ・県版HACCP旧第2ステージの認証取得（H30） ・新商品開発・既存商品磨き上げ（H29～R4） ・急速冷凍庫の導入（R4） ◆売上高 1,454万円（H26）→2,846万円（R4） ◆雇用の創出 3名（H26）→6名（R4）

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
幡多	幡多地域における昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進 《宿毛市》	昭和40年代から製造し、地元で愛されている「羊羹ぱん」など昭和レトロをコンセプトとした商品の販売を拡大し、全国に展開していくことで、独自ブランドを確立するとともに、新たな雇用の創出による地域の活性化を図る。	・(有)菱田ベーカーリー	取組期間: H28～R5 ・新商品の開発(H28～) ・産振補助金等を活用したテストマーケティングの実施(H28、H30) ・商談会や催事、パンフェス等への出展(H28～) ・プレハブ冷凍庫の導入(H28) ・低温冷凍機の導入(H29) ・オーバーヘッドプルファー(製パン機)の導入(R元) ・ホイロ(発酵機)の導入、天井の補修(R2) ・工場屋根の改修(R3) ・県版HACCP新第2ステージの認証取得(R5) ◆売上高 4,251万円(H28)→5,347万円(R4)
	幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築 《土佐清水市》	地域の生産者や民間事業者等が連携を図りながら、土佐清水市ゆかりの店を始めとする飲食店(土佐清水ワールド・幡多バル)等への取引拡大に向け、地域産品を活用した新たな加工商品を開発・販売するとともに、地域食材の調達の仕組みや流通システムの構築に取り組むことにより、メジカ産業をはじめとする基幹産業の再生を図る。	・(株)郷土活性化組合(土佐清水活性化組合) ・土佐清水外商流通組合 ・土佐清水市	取組期間: H29～R5 ・チャーター便を利用したコンテナ輸送の試行(H29) ・地域産品の掘り起こし(H29～) ・清水サバ活魚の運搬及び店舗生けずの環境の改善(H30) ・土佐清水活性化組合の開設(H30) ◆ワールド・ワンの幡多関連営業店舗数 土佐清水ワールド3店、幡多バル1店(H29)→土佐清水ワールド9店(R5)

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
幡多	四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化 《四万十市》	四万十市の漁業者、農家、加工業者、販売者が連携し、四万十地域の食材を主な原材料とする加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	・しまんと百笑かんぱに(株) ・四万十市地域商品研究会	取り組み期間：H26～R5 ・地域素材を活用した新商品開発と販売（H26～） ・四万十市地域商品研究会の設立（H26） ・人材育成セミナーの開催（H27～H29） ・しまんと百笑かんぱに(株)設立（H27） ・台湾での高知県物産展及び商談会の実施（H28～R元） ・産振補助金を活用した加工保管施設の整備（H29） ・県版HACCP旧第3ステージの認証取得（H30） ・ドッグフード加工施設の整備（R4～5） ◆売上高 3,072万円（H27）→5,744万円（R4）
	四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の推進 《四万十市》	四万十川流域の素材を使用した菓子類の開発・製造・外商を行い、素材生産者の所得向上と雇用の創出を目指す。	・(株)LLPしまんと	取り組み期間：H28～R5 ・新商品開発と販売（H28～） ・県版HACCP旧第2ステージの認証取得（H29） ・土佐MBA「幡多稼ごう塾」の受講（R元） ◆売上高 2,467万円（H27）→2,893万円（R4）
	三原産トマトを中心とした加工・販売の推進 《三原村》	地域産トマトを活用した加工品の生産体制を強化するとともに、地産外商による販路拡大を進めることで、新たな雇用の創出による地域の活性化を図る。	・(株)ベストグロー	取り組み期間：H28～R5 ・新商品開発と販売（H28～R4） ・生産・加工体制の強化（H28～R2） ・ジュース製造体制の見直し（R4～R5） ◆売上高 9,395万円（H30）→1億1,106万円（R4） ◆雇用の創出 3名（H28）→4名（R5） ◆取引件数 120件（H28）→150件（R5）

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
幡多	黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進 《黒潮町》	衛生・品質管理が行き届いた水産物加工施設を中心に、「家族に安心して食べさせられるもの」をコンセプトとした商品の地産外商を充実・強化することで、地域内の漁業者の所得向上、地域での雇用を拡大する。	・(有)土佐佐賀産直出荷組合	取り組み期間：H24～R5 ・産振補助金を活用した水産物加工施設の整備（H26～H27） ・加工機器の導入（H28） ・冷凍保管施設の整備（H30） ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用したワラ焼きタタキ台、換気ダクト等整備（R2） ・自社ネットショップの機能強化、オンライン商談の開始（R2） ・薫焼き製造ライン増設（R4） ◆売上高 5,205万円（H24）→1億3,360万円（R4） ◆雇用の創出 9名（H24）→13名（R4）
	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進 《黒潮町》	道の駅「なぶら土佐佐賀」を中心として、魚介類や農産物などの地域食材を活用した商品開発・販売促進に取り組むとともに、地域の魅力の発掘・発信を強化することにより、地域の所得向上と交流人口の拡大を図る。	・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町	取り組み期間：H24～R6 ・(株)なぶら土佐佐賀を設立（R25） ・道の駅「なぶら土佐佐賀」の整備（H26） ・デジタルサイネージの設置（H28） ・空調改修及び観光表示板の改修（R3） ・多言語対応、キャッシュレス対応券売機導入（R4） ◆売上高 2億1,302万円（H26）→2億4,234万円（R5） ◆レジ通過者数 191,151名（H26）→230,278名（R5） ◆雇用の創出 19名（H25）→13名（R5）
	地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化 《四万十市》	地域商業活性化拠点「Shimanto+Terrace はれのぼ」を核に、県内外の観光客といった新たな顧客を官民協働で呼び込むことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらし、中心市街地の活性化を図る。	・◎四万十市中心商店街活性化協議会 ・◎四万十にぎわい商店（株） ・四万十市	取り組み期間：H29～R7 ・拠点施設運営主体の決定：四万十にぎわい商店（株）（H29） ・四万十市中心市街地活性化協議会の設立（H30） ・四万十市中心商店街活性化計画づくり（H30）→産振アドバイザー制度の活用 ・四万十市中心商店街活性化計画の策定（R元）

地域	項目	事業の概要	事業主体	これまでの取り組みと成果
幡多				・「Shimanto+Terrace はれのば」オープン(R2) →地域経済活性化拠点補助金の活用(R元) ・公園スペースでの主催、持ち込みイベントの開催(R2～) ・はれのばマルシェの開催(R4～) ・第2期四万十市中心商店街活性化計画の改定(R6) ◆四万十にぎわい商店(株)売上高 1,763万円(R2)→2,609万円(R6) ◆直営「cafe n2」入込客数 10,367人(R2)→19,956人(R6) ◆商店街エリア内の新規出店者数 11店舗(R元～R2累計) →26店舗(R元～R6累計) ◆中心商店街エリア内の通行量 平日:5,824人(R2)→4,341人(R6) 休日:3,244人(R2)→3,023人(R6) ◆雇用の創出 12名(R2)→15名(R6)